

(特非) 地域の未来・志援センター

日本版「首長誓約」による地域気候エネルギー政策確立支援事業

活動に対する問合せ件数	14 件
誓約自治体数：目標 25	5 自治体
活動の全体目標に対する達成度	80%



西三河 9 市 1 町職員向け勉強会を 8 回実施

◆成果と工夫したポイント

- 成果 平成 27 年 12 月 12 日に岡崎市、豊田市、安城市、知立市、みよし市が日本版「首長誓約」を誓約。平成 28 年 3 月 29 日には、この 5 市による「西三河首長誓約推進協議会」(会長：豊田市長)が設立された。
- 工夫 ・西三河 9 市 1 町の自治体担当者を対象に、勉強会を計 8 回開催。
・西三河地域の 10 首長を訪問し、説明した。



課 題

温室効果ガスの大幅削減、再生可能エネルギーなどへの転換、気候変動・自然災害への対応。また、「地域」における人口減少への対応、経済・雇用の再生。

活動内容

名古屋大学大学院環境学研究科と連携し、下記の活動を行った。

- ・手法開発(「持続可能なエネルギー行動計画」を策定するための支援ツール改良)。
- ・首長同士のネットワークづくり、自治体職員の政策能力向上のためのネットワークづくり。
- ・日本版「首長誓約」の Web 制作(リニューアル)、案内リーフレット作成。
- ・EU「市長誓約」との連携、気候変動枠組条約第 21 回締約国会議(COP21)サイドイベントへの参加。



12 月 12 日、岡崎・豊田等 5 市が誓約第 1 号に

今後の課題

①さらなる首長誓約の普及。②支援ツールを Web 上に公開できるよう、公開する上での使用条件やロジックを検討する。③フィージビリティスタディ実施のための資金獲得。④全国に展開するための組織づくりなど。